

## ごあいさつ



人生 100 年時代を迎えようとする現在、健やかに、心豊かに暮らすことは、だれもが願っていることです。

そのためには、健全な食生活を営むことが大切ですが、近年、私たちの生活は大きく変化し、食生活の偏りや生活のリズムの乱れによる肥満や生活習慣病が増加しています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、改めて日々の健康づくりの重要性が再認識されています。

川崎町では、平成 23 年 3 月、国の食育基本法に基づく「川崎町食育推進計画」を策定し、“豊かな「食」を楽しむ健やかな心を育てよう”を基本理念に、赤ちゃんから高齢者まで各世代にあわせた食育に取り組んできました。平成 28 年 3 月には、生活習慣病の発症と重症化を予防する「食」に重点をおいた「第 2 期川崎町食育推進計画」を策定し、学校等の教育機関や健康推進員・ヘルスマイト等健康づくりに関わる皆様との連携により、学校、地域での様々な食育の取り組みを進めてきました。

健康づくりのための食生活を心がけようとする町民の増加傾向や、住民健診で、宮城県の平均を上回っていたメタボリックシンドロームの該当者と予備軍にあたる人の割合に減少傾向がみられました。しかし、この数年、メタボリックシンドローム該当者とその予備軍にあたる人の割合に再び上昇傾向が見られます。

2040 年頃には、いわゆる団塊ジュニア世代が高齢者となり、高齢者人口がピークを迎える一方で、現役世代が急激に減少します。このような背景を踏まえ、子どもの時期から望ましい食習慣を身につけて将来の生活習慣病の発症を防ぐこと、成人の生活習慣病の重症化を防ぐことを目的に「第 3 期川崎町食育推進計画」を策定しました。

今後も、家庭での食育の実践を中心に、関係機関の皆様との連携による食育の取り組みを、町民運動として進めてまいります。

この計画により町民が、健やかに、心豊かに暮らしていけるよう、皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

最後に、本計画を策定するにあたり貴重なご意見、ご提言をいただきました関係者の皆さまはじめ、食生活調査にご協力いただきました町民の皆さまに心より感謝申し上げます。

令和 3 年 3 月

川崎町長 小山 修 作